

平成30年度 学校防災に関する実態調査

1 調査の目的

学校の防災教育及び防災管理の実態を把握し、今後の学校防災の充実強化を図る。

2 調査の時期

平成30年12月

3 調査対象

県教育委員会及び各市町教育委員会が所管する幼稚園、こども園、小学校、中学校、高校、特別支援学校

幼稚園・こども園	194 園	高等学校(定時制・通信制・分校を含む)	115 校
小学校	496 校	特別支援学校(分校を含む)	38 校
中学校	263 校	合計	1,106 校園

I 防災教育について

(1) 防災教育に取り組んでいる時間（複数回答可）

項目	幼稚園等	小学校	中学校	高校	特別支援
国語	—	8%	7%	0%	0%
社会	—	54%	38%	29%	11%
理科	—	47%	46%	36%	11%
保健体育	—	11%	33%	28%	8%
道徳	—	26%	27%	—	—
総合的な学習の時間	10%	44%	65%	28%	39%
行事又は特別活動	73%	86%	62%	77%	63%
学級活動・ホームルーム活動	27%	78%	69%	43%	89%
その他	24%	8%	8%	10%	21%

調査結果

- ・ 全校種を通して、行事や学級活動等、授業外の時間を使って取り組むことが多い。
- ・ 授業の単元に防災の要素を含め、教科横断的に防災教育を実施している学校もある。

(2) 学校防災（防災管理・防災教育）推進のために活用している資料・教材（複数回答可）

項目	幼稚園等	小学校	中学校	高校	特別支援
学校の防災対策マニュアル	57%	82%	79%	70%	79%
静岡県防災教育基本方針	9%	34%	29%	23%	39%
教職員用学校安全教育指導資料「命を守る力を育てる」	2%	12%	12%	5%	21%
しずおか型実践的防災学習支援教材集	1%	8%	5%	5%	8%
高校生のための防災ノート	—	—	—	18%	11%
教職員のための危機対応BOOK	11%	23%	17%	17%	18%
文部科学省等官公庁が作成する教材・資料等	10%	16%	14%	28%	26%
市町が作成する教材・資料等	64%	47%	48%	32%	39%
教職員等が作成する学校独自の教材・資料等	33%	26%	33%	28%	66%
その他の教材・資料等	46%	10%	10%	10%	18%

調査結果

- ・ 7割以上の学校で「学校の防災対策マニュアル」を活用している。
- ・ 特別支援学校では、約3分の2の学校が学校独自で教材や資料を作成している。

(3) 防災教育で実施している取組（複数回答可）

項目	幼稚園等	小学校	中学校	高校	特別支援
D I G（防災マップ作り・防災まち歩き等を含む）	11%	33%	35%	18%	29%
家庭内D I G	2%	4%	6%	9%	8%
H U G（避難所運営ゲーム）	2%	6%	22%	11%	18%
災害時判断ゲーム	0%	9%	15%	11%	21%
防災講話（専門家等による出前講座）	50%	67%	76%	73%	79%
地震体験車	29%	27%	14%	10%	53%
その他	51%	31%	34%	33%	61%

調査結果

- ・ 全校種を通じて講話の割合が高い。
- ・ DIGやHUGなどの体験型防災教育も実施されているが、全体的には少数である。
- ・ その他、「訓練後に各学級でフィードバックを行う」等、訓練と関連付けて実施する学校もある。

(4) 今年度の防災訓練実施回数

項目	幼稚園等	小学校	中学校	高校	特別支援
1回	1%	0%	2%	10%	0%
2回	0%	2%	17%	39%	3%
3回	1%	19%	44%	32%	8%
4回	1%	24%	21%	16%	21%
5回以上	97%	54%	16%	3%	68%

調査結果

- ・ 全ての学校が防災訓練を年1回以上実施している。
- ・ 幼稚園、小学校、特別支援学校では5回以上訓練を実施する学校の割合が高い。中学校や高校でもほとんどの学校が地震や火災など様々な状況を想定して複数回訓練を重ねている。

(5) 防災訓練の実施内容（複数回答可）

項目	幼稚園等	小学校	中学校	高校	特別支援
抜き打ち訓練	89%	95%	75%	42%	92%
登下校中を想定した訓練	8%	9%	8%	7%	21%
地域と連携した訓練	14%	13%	32%	8%	13%
他校（幼稚園と小学校等）と連携した訓練	45%	28%	20%	9%	29%
保護者への引渡し訓練	97%	93%	30%	2%	74%
初期消火活動	60%	22%	21%	50%	47%
情報伝達訓練（171を活用した訓練を含む）	64%	16%	12%	27%	68%
救出救助・応急救護訓練	15%	18%	16%	28%	39%
避難所運営体験	3%	2%	5%	3%	21%
スモークハウス体験	26%	28%	15%	42%	61%
炊出し・非常食体験	17%	8%	9%	8%	53%
宿泊訓練（防災キャンプ等）	0%	8%	3%	0%	5%
緊急地震速報を活用した訓練	35%	34%	34%	30%	39%

調査結果

- ・ 抜き打ち訓練を実施する学校の割合は、全ての校種の実施内容で上位に位置している。
- ・ 幼稚園、小学校、特別支援学校では、多くの学校で保護者と連携した訓練（引渡しや情報伝達等）を実施している。

II 地域で行われる防災訓練の参加状況について

◆ 児童生徒等の参加状況

訓練の内容	幼稚園等	小学校	中学校	高校	特別支援	合計	(中+高)
① 地域防災訓練	23%	33%	68%	50%	27%	44%	60%
② 総合防災訓練	26%	23%	36%	16%	11%	25%	27%
③ その他の訓練	2%	1%	1%	1%	2%	1%	1%
①～③の訓練に1回以上参加	48%	47%	81%	62%	49%	58%	73%

調査結果

- ・ 全ての校種における防災訓練の参加率は昨年度比△2%。
- ・ 地域防災の担い手として特に期待される中高生は、7割以上の生徒が訓練に参加している。

◆ 教職員の参加状況

項目	幼稚園等	小学校	中学校	高校	特別支援	合計
① 地域防災訓練（12月前後）	49%	43%	48%	33%	31%	42%
② 総合防災訓練（9月前後）	48%	33%	33%	17%	17%	29%
③ その他の訓練	0%	2%	2%	1%	4%	2%
①～③の訓練に1回以上参加	69%	54%	62%	45%	39%	54%

調査結果

- ・ 半数以上はいずれかの訓練に参加しているものの、児童生徒等の参加率を下回る。

Ⅲ 防災教育推進のための連絡会議について

(1) 防災教育推進のための連絡会議の実施回数（実施予定を含む）

項目	幼稚園等	小学校	中学校	高校	特別支援	合計
1回	71%	71%	76%	64%	68%	72%
2回	6%	19%	12%	20%	11%	14%
3回以上	7%	8%	8%	11%	13%	8%
連絡会議未実施	32園	11校	10校	5校	3校	61校

※複数の課程を併置している高校については、学校単位で集計

調査結果

- ・ 9割以上の学校が連絡会議を実施し、市町や地域との話し合いの場をもっている。
- ・ これまでは学校が主催して会議を実施することが多かったが、市町の防災部局や自主防災組織等が主催する避難所運委に関する会議に参加するケースも増えている。

(2) 防災教育推進のための連絡会議における協議内容（複数回答可）

項目	幼稚園等	小学校	中学校	高校	特別支援
学校が避難所になった場合の対応	64%	87%	82%	77%	53%
地域で実施する防災訓練の内容等	57%	64%	68%	57%	53%
地域の人材や災害の歴史等を活用した防災教育	11%	6%	8%	4%	3%

調査結果

- ・ 学校が避難所となった場合の対応に関する協議が多い。
- ・ 地域や他校と連携した訓練の話し合いも6割以上の会議で行われている。
- ・ HUGを実施し、避難所に対する地域と学校の認識の共有を図るケースも見られる。

Ⅳ 被災地支援について

(1) 被災地との交流、支援

項目	幼稚園等	小学校	中学校	高校	特別支援
被災地への支援活動（交流、募金等）を実施	32%	9%	23%	41%	16%
主な支援先：東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨、北海道胆振東部地震の被災地					

調査結果

- ・ 支援活動を実施しているのは全体の20%程度。
- ・ 今年度は平成30年7月に発生した西日本豪雨の被災地に対し支援活動をする学校が多い。